

第1回奥の細道むすびの地周辺整備構想懇談会 会議録

と き：平成20年7月25日（金）10：00～11：45

ところ：大垣市役所3階 合同委員会室

出席委員

区 分		役 職	氏 名
座 長	学識経験者	情報科学芸術大学院大学学長	横山 正
副 座 長	文化連盟関係者、観光協会関係者	大垣市文化連盟会長、大垣市観光協会会長	田中 良幸
委 員	商店街振興組合関係者	大垣市商店街振興組合連合会理事長	北野 茂樹
	自治会関係者	大垣市連合自治会連絡協議会副会長	大橋庄一郎
	婦人会関係者	大垣市連合婦人会書記	谷口いつ彗
	青年団体関係者	大垣市青年のつどい協議会会長	大塚 典和
	市民団体関係者	奥の細道俳句協会会長	田中 青志
		大垣市文化財保護協会会長	矢橋 和江
		ふるさと大垣案内の会会長	河合 和弘
		まちづくり工房大垣・歴史観光グループ代表	疋田 正
	学生	岐阜経済大学学生	蟻塚 正樹
		大垣女子短期大学学生	小西 美那
			中島 章子
	地元関係者	興文連合自治会長	松岡 昌男
		西連合自治会長	北村 正章
南連合自治会長		小林 晃	
船町湊まちづくり株式会社代表取締役		三輪 高史	

欠席委員

区 分		役 職	氏 名
委 員	中心市街地活性化協議会関係者	大垣市中心市街地活性化協議会準備会会長	金森 勤
	学生	岐阜経済大学学生	堀 あゆ美
		情報科学芸術大学院大学学生	津田 志保
		岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー学生	菅沼 聖

事務局

企画部	部長	水井 静雄
	政策調整課長	社本 久夫
	政策調整課政策調整係長	寺嶋 太志
	政策調整課主査	後藤 威博
	政策調整課主査	清水 雅士
経済部	部長	田中 重勝
教育委員会事務局	局長	北村 武久
	文化振興課長	野寺 紀夫

アドバイザー

大垣商工会議所まちづくり特別委員会委員長	車戸 慎夫
大垣商工会議所事務局長	菱田 耕吉
大垣商工会議所事務局	増元 英治
大垣商工会議所事務局	伊藤 孝之

【会議録】

1. 開会

(水井静雄 企画部長)

本日は大変お忙しい中をお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。私、本日の進行を務めさせていただきます、企画部長の水井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、只今から、第1回奥の細道むすびの地周辺整備構想懇談会を始めさせていただきます。

はじめに、小川市長から、ごあいさつを申し上げます。

(小川 敏 市長)

市長の小川でございます。本日、お集まりいただきました皆様には、大変お忙しい時期にもかかわらず、この懇談会への参加をお願いしましたところ、ご快諾を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、奥の細道むすびの地につきましては、大垣市の歴史と文化が息づく美濃路界隈であるとともに、俳聖・松尾芭蕉が奥の細道の紀行を終えた地でございます。

「奥の細道むすびの地の周辺整備」につきましては、中心市街地の活性化を図っていく核となる事業として位置付けており、むすびの地周辺に憩いと賑わいの空間を整備してまいりたいと存じます。

この「むすびの地周辺の整備」により、新たな「まちの顔」としての拠点が生まれることにより、中心市街地活性化の起爆剤になることを期待しております。

また、本市の歴史・文化、観光資源を総合的にPRすることで、本市のイメージアップを進め、市外からの誘客につなげていきたいと思っております。

さらには、むすびの地を活用して、歴史、文化、環境、緑化などの様々な分野で、市民の皆さんが個性や能力を発揮できる新たな活躍の場を創出でき、本市の取り組んでいる「かがやきライフタウン構想」を一層推進するとともに、本市のまちづくりの担い手の養成にもつながるものと存じます。

このたびは、皆様のお知恵をお借りして、中心市街地活性化に向けた具体的な構想をつくりあげたいと存じますので、忌憚のないご意見やアイデアを賜りますようお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

2. 奥の細道むすびの地周辺整備構想懇談会について

(水井静雄 企画部長)

ありがとうございました。それでは、皆様にご参加いただきます、奥の細道むすびの地周辺整備構想懇談会につきまして、ご説明申し上げます。

(社本久夫 政策調整課長)

奥の細道むすびの地周辺整備構想懇談会につきまして、ご説明申し上げます。私、政策調整課長の社本でございます。資料No.1の奥の細道むすびの地周辺整備構想懇談会設置要綱をご覧いただきたいと思います。

第1条の目的は、大垣市の歴史と文化が息づく美濃路界隈であるとともに、俳聖・松尾芭蕉が奥の細道の紀行を終えたむすびの地に憩いと賑わいの空間を整備し、中心市街地の活性化を図っていく構想案に対する意見を聴取するため、懇談会を設置するものでございます。

第2条の所掌事務は、第1号 奥の細道むすびの地周辺整備構想案への提案に関すること。第2号 その他奥の細道むすびの地周辺整備構想に関することとしております。

第3条の組織は、第1号から第12号の委員を規定し、市長が委嘱するものでございます。

第4条の任期は、奥の細道むすびの地周辺整備構想の策定までとしております。

第5条の役員として、座長、副委員長を置き、市長が指名するとしております。このため、名簿にありますとおり、座長には、情報科学芸術大学院大学学長の横山 正様、副座長には、大垣市文化連盟会長であり、大垣市観光協会会長の田中良幸様にお願いしたいと存じます。

第6条の会議は、会議の招集、会議成立の出席委員数、会議の議事等を規定してあります。

第7条は事務局を規定してあります。

第8条は委任規定でございます。

以上が、本日、設置させていただきました、奥の細道むすびの地周辺整備構想懇談会の設置要綱でございます。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、資料No.2の奥の細道むすびの地周辺整備構想懇談会スケジュールをご覧いただきたいと思います。

本日の第1回懇談会では、皆様に懇談会委員を委嘱させていただき、意見交換をしていただく予定でございます。

第2回懇談会につきましては、8月12日(火)の10時から12時の予定で、奥の細道むすびの地周辺整備に関して意見交換をお願いしたいと存じます。

第3回懇談会につきましては、第1回及び第2回の懇談会での意見を踏まえ、小川市長も参加させていただき、皆様と意見交換してまいりたいと存じます。以上が、懇談会のスケジュールでございます。よろしくお願い申し上げます。

3. 奥の細道むすびの地周辺整備構想懇談会委員の委嘱状交付

(水井静雄 企画部長)

それでは、皆様に懇談会委員の委嘱状を交付させていただきます。お名前をお呼びいたしますので、小川市長から委嘱状をお受け取りください。

(小川市長から委嘱状を交付)

まず、座長をお願いいたします、情報科学芸術大学院大学学長の横山 正 様でございます。

次に、副座長をお願いいたします、大垣市文化連盟会長、大垣市観光協会会長の田中良幸 様でございます。

大垣市商店街振興組合連合会理事長の北野茂樹 様でございます。

大垣市連合自治会連絡協議会副会長の大橋庄一郎 様でございます。

大垣市連合婦人会書記の谷口いつ彖 様でございます。

大垣市青年のつどい協議会会長の大塚典和 様でございます。

奥の細道俳句協会会長の田中青志 様でございます。

大垣市文化財保護協会会長の矢橋和江 様でございます。

ふるさと大垣案内の会会長の河合和弘 様でございます。

まちづくり工房大垣・歴史観光グループ代表の疋田 正 様でございます。

岐阜経済大学学生の蟻塚正樹 様でございます。

大垣女子短期大学学生の小西美那 様でございます。

同じく、大垣女子短期大学学生の中島章子 様でございます。

興文連合自治会会長の松岡昌男 様でございます。

西連合自治会会長の北村正章 様でございます。

南連合自治会会長の小林 晃 様でございます。

船町湊まちづくり株式会社代表取締役の三輪高史 様でございます。

なお、本日、大垣市中心市街地活性化協議会準備会会長の金森 勤 様、岐阜経済大学学生の堀 あゆ美 様、情報科学芸術大学院大学学生の津田志保 様、岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー学生の菅沼 聖 様が、所用により、ご欠席でございます。

また、今回の構想策定に当たりましては、本市の中心市街地活性化、特に「奥の細道むすびの地周辺整備」について、計画づくりなど、様々な事業に積極的な取り組みを進めておられる大垣商工会議所のノウハウをお借りすることにしました。

本日、大垣商工会議所関係者の方に、アドバイザーとしてご参加いただいておりますので、ご紹介申し上げます。

まず、大垣商工会議所まちづくり特別委員会委員長の車戸愼夫 様でございます。

次に、大垣商工会議所事務局長の菱田耕吉 様でございます。

それでは皆様、よろしく申し上げます。

4. 奥の細道むすびの地周辺整備について

(水井静雄 企画部長)

それでは、続きまして、次第「4. 奥の細道むすびの地周辺整備」について、意見交換をお願いしたいと存じます。

ここからの進行は、座長の横山 正 様をお願いしたいと存じます。よろしく申し上げます。

(横山 正 座長)

懇談会の座長を務めさせていただきます、横山と申します。よろしくお願いいたします。

この懇談会は、大垣市情報公開条例の規定に基づきまして、本日の会議で個人情報など非公開とする事案がないことから、会議は公開といたします。

なお、本日、傍聴を希望される〇〇町の〇〇〇〇さんほか1名がいらっしゃいますので、ここで会場にお入りいただきます。

(事務局員が傍聴者を所定の席へ誘導)

(横山 正 座長)

それでは、懇談会で検討してまいります、奥の細道むすびの地周辺整備につきまして、事務局から説明を受けたいと思います。事務局、よろしくお願いいたします。

(社本久夫 政策調整課長)

奥の細道むすびの地周辺整備につきまして、ご説明申し上げます。資料No.3の「奥の細道むすびの地周辺整備構想」対象区域をご覧いただきたいと存じます。

皆様からご意見を頂戴いたしたい、奥の細道むすびの地周辺整備構想の対象区域といたしましては、太線で囲ってある地域及び周辺を想定しております。

これらの用地につきましては、マンション建設の話もありましたので、そうしたのではなく、歴史的、文化的に、まさに「奥の細道むすびの地周辺」にふさわしい雰囲気や特色を持たせた整備を進めるべきであるとの考えに基づき、現在、図面[a]と[b]の土地を大垣市土地開発公社が所有しており、[c]の土地につきましても、今後、取得に向けて地権者と協議を進めております。

そして、周辺道路を含め、むすびの地周辺として、今回、憩いと賑わいの空間づくりを進める整備構想を策定していきたいと考えているものでございます。

市長のあいさつにございましたように、むすびの地周辺の整備が、新たな「まちの顔」としての拠点となり、中心市街地活性化の起爆剤になるとともに、大垣市の歴史・文化、観光資源をPRすることにより、市外から誘客が進み、憩いと賑わいの空間となることを目指しております。

以上が、奥の細道むすびの地周辺整備についての考えと対象地域でございますが、さきほど、ご紹介を申し上げましたとおり、今回の構想策定につきまして、アドバイザーとして参加していただき、なんと申しますか構想案全体のまとめ役的な役割をお願いしております大垣商工会議所さんは、本市の中心市街地活性化、特に「奥の細道むすびの地周辺整備」につきましては、熱い思いでの計画づくりなどを進めておられますので、大垣商工会議所まちづくり特別委員会委員長の車戸さんに、これまでの経緯や計画づくりの考え方について、ご説明をいただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

(車戸慎夫 アドバイザー)

ここ10年ほどの大垣商工会議所の活動を説明したいと思います。今から10年ほど前にまちづくり三法ができました。アメとムチのようなところがあって、本来

ならばうまく行く予定だったのでしょう。まず大型店舗の規制緩和がありました。それで大垣の環状線沿いには、この都市のキャパとしては多過ぎるのではないかと、いうほど、大型店舗が出てきました。しかし、それと同時に中心市街地も中心市街地活性化法ができて、ハード、ソフトの両面から活性化するための施策や補助金のメリットなどがあって、今日に至っています。

実際見てみると、大型店舗はしっかりできましたが、中心市街地が本当に中心市街地活性化法に則って、うまくできたかということ、そうではなかった。大垣商工会議所もそれに伴ってTMOができました。NPOの方々にも尽力いただきましたが、なかなか進みませんでした。そこで昨年、まちづくり三法が見直しになって、今度は大型店舗を規制しようという動きになりました。

私も8年ほど前からまちづくりに関わって、今はまちづくり特別委員会の委員長です。なんとか中心市街地を活性化しようということで、様々なことに取り組んできました。特に船町港地区、大垣城周辺、並びに大垣駅周辺の3つを整備しながら、水門川、駅南口通、本町、美濃路などで結び、回遊できるような仕組みをつくることで、より良い大垣をつくっていったらどうかという提案をさせていただきました。

そうしているうちに、船町湊まちづくり株式会社が立ち上がって、船町地区に残っているものを生かしながら整備してやっていこうということで、随分ご尽力いただきました。

なんとかしないといけないと言っている間に、マンションが2棟建つという話が出てきました。確かにマンションとしては非常に環境が良いところですが、大垣にとって良いことかということになり、大垣市のみならず西濃圏域にとっても船町港地区が良いところになるために、マンションが建たないようにならないかということで、市にもお願いし、土地の交換という形で、大垣のまちづくりの核となる場ができたわけです。

今回、中心市街地の回遊性を誘発する拠点ということで、資料を作成してきました。実際には、ただ単に観光だけで良いのか。そこに住んでいるの方々にとっての場でもあります。大垣市民の憩いの場でもあります。その意味で地図をつけました。

資料1枚目の赤丸が該当の地域です。周りに大垣城、駅南口など歴史、文化遺産を書いています。2枚目の資料は、大垣が周辺の中で、どのような位置づけかということで、赤坂なども載せています。輪中文化は負の遺産でなく、先人の知恵ですから、田園風景も入れています。3枚目の資料は、西濃圏域での位置です。徳山ダムから木曾三川を含めて南の方まで入っています。これらを見ると、ただ単に船町という界隈だけでなく、中心市街地、大垣市内、そして周辺、西美濃のきわめて重要な位置を占めているのだと思います。4枚目の資料は、船町地区の位置づけです。文化財や公共施設、公園なども書いています。5枚目の資料は、まちづくり協議会の方で、線にし、面にし、船町の地区をこのようにしたら良いのではないか。そのための問題点はどんなものがあるかを参考までに書きました。

資料にあるように、商工会議所として、船町地区、大垣城周辺、駅南口の場所ごとのあり様を考えながら、なんとかして中心市街地活性化をやっていこうというものです。きちんと軸をつくって、20年後、30年後になってもきちんとしたものであったと言われるものをつくっていく取り組みを行っています。なかなか活動の

取り組みを発表する場がなく、皆さんに伝わらない部分がありますが、今回はこの場を借りて説明させていただきました。

歴史や文化などもありますが、そこに住む人たちにとって、いかに良いかも大事です。確かに観光も大切ですが、一般の大垣市民にとっても誇れるようなまち。ホストが魅力的に生活できなければ、ゲストはなかなか来ないと思います。ホストとして自分のまちにプライドを持って生活する。そうなればゲストにも来ていただけたらと思います。そんな、まちづくりをしたいと思います。

(横山 正 座長)

事務局及びアドバイザーの車戸さんから、奥の細道むすびの地周辺整備について、説明を受けました。

それでは、委員の皆さんから、ご意見をお聴きしていきたいと思います。

お一人2分程度で、お願いしたいと思います。最初に、副座長の田中様にお願いして、順番にお聴きしたいと思います。では、よろしく申し上げます。

(田中良幸 副座長)

せっかく土地開発公社に用地を取得してもらって、どのように生かすか。大垣の観光にとっても文化にとっても、いろいろな意味で大事だと思います。資料3の地域のところで、aとbの間にある第2住吉荘については手がつけられないというのが現状かどうかです。その辺りがどうなるのか。どう整備をしていくかをまず考えたいと思います。

芭蕉記念館もありますが、設置、整備などもこのままでいいのか。そして大醒榭を移転するということですが、新しいところに持っていくのかどうか。深川から大垣までが奥の細道の場所ですから、その辺りも構想に入れて進めていくと良いと思います。

(北野茂樹 委員)

この地域だけでなく、大垣商店街と連携を持って、広い地域での開発という形でお願ひしたいと思います。4月に埼玉の川越に行って来ました。素晴らしいまちでした。大垣市と条件が似ています。東京から40分ぐらいですが、大変な賑わいです。大垣も名古屋の都市圏から30分から40分です。

本川越という駅で降りると、ボランティアグループが回遊する地図を持っています。時の鐘、蔵の町、川越城などの観光資源があって似ています。1周すると2時間ぐらいです。若い人がたくさん来ていました。そのように歴史、文化を他地域の方にも見ていただけるような楽しいまちづくりにしていただきたいと思います。

(大橋庄一郎 委員)

駅前地域は駅を中心として、大垣城は大垣城と大垣公園を中心にして、そして船町は奥の細道むすびの地を中心として、ちょうどいい具合に3つがあります。それが一体化すれば、観光地としても住む場所としても楽しいまちになると思います。

今から13年ほど前に大垣藩士の追悼のために東北を回りました。そのときに、

東北では芭蕉を大切にし、奥の細道を大切にしているのを見ました。帰ってきて小倉前市長に進言しましたが、やらなければならないことがたくさんあって、手が回らないと言われました。

私は、2000年から2001年まで東ライオンズクラブの会長を務めました。200万円の予算があり、矢立初の句碑を建てようということで、水門川に建てました。最初があって、最終があれば、中間はだれか建ててくれるだろうと思っていたら、小川市長に建てていただきました。今は「ミニ奥の細道」ができて、大垣を訪れる人が増えています。

江東区の芭蕉館、那須黒羽町の芭蕉の館、深川の芭蕉館へ電話をしました。黒羽町の芭蕉の館はすごい建物です。深川の芭蕉記念館も立派です。投資を惜しんではいけないと思います。そうすれば、必ず人が来ると思います。

(谷口いつ彙 委員)

7月に婦人学級の30人ほどでむすびの地を回りました。一番困ったのは、四季の広場で昼になったのですが、食事をするところがない。2千円出せば食べるところもありますが、庶民にとっては1千円前後だと思います。

この土地には、バスで入ってきて、食事ができ、大垣の名物を買って、キャラクターがある、と言う形になると良いと思います。今はゆるキャラというものもあります。それを訪れた人が土産に買うという姿を夢見ています。

(大塚典和 委員)

奥の細道、松尾芭蕉には疎い方で詳しくは分かりません。私も含めて若い人たちが、大垣の中に歴史的なものがあるかということ、行ったことがない人が多いと思います。私自身も足をなかなか運びません。やはり若い人たちが行けるようにしないといけないと思います。

また、そこだけにいい物を作っても人は来ないと思います。大垣市を全体としてどう変えるか。この地域の人が本当にふるさとを愛して、住みよいまちになるかを考えないといけないと思います。まずは自分が住み良いと言えるまちになるように考えていきたいと思います。

(田中青志 委員)

私どもの会の名前が奥の細道俳句協会です。この構想で、私どもの夢がいよいよ実現するのかという思いです。むすびの地周辺をもう少し良くしてください。記念館を建ててくださいと、どれだけ言ってきたか分かりませんが、なかなかその声が届きませんでした。これでいよいよ実現すると高ぶっています。

ただ、俳句のまち・大垣ということで、若い人が俳句と大垣をどのように結び付けているかを考えます。俳句人口は増えたと言われていますが、俳句のまち・大垣と言っている割には増えていません。小中生とお年寄りはやっていますが、間の層は抜けていると思います。

記念館は今の状態ではお粗末です。もう少し立派で感動するものが他地域にあります。記念館の整備に、どう周りを結びつけるかを審議いただければうれしく思い

ます。若い人にもっと奥の細道むすびの地を知っていただいて、これから大垣市に住んで楽しく過ごせるかを考えていきたいと思います。

(矢橋和江 委員)

やっここまでたどり着けたかという思いです。私どもとしては文化財保護という立場から長い間お願いしてきた大醒榎が、やっと日の目を見るようになって来たことを喜んでいますが、解体して保存している大醒榎が、構想の中で整備の対象になっていることは聞いていますが、実際にどういう形で実現するかが、最大の関心事です。その点をお願いしたいと思います。

もう一つは、まちというのは地元で育った人よりも外から来た人のほうが新しい目で見ることがができます。そういう点で言うと、私や車戸さんなど、地元で育った人ではなく、外から来て、大垣という場所がいかに素晴らしいところであるかを一つひとつ見つけてきて数十年になります。そういう目をいろんなところで拾い上げながら構想を進めるようにお願いします。

東京から来た友達を案内して歩きました。駐車場もありますが、大垣は駅から奥の細道むすびの地まで十分歩ける距離です。その意味では歩いて回れる構想を持ってほしいと思います。車、バスの駐車場というのは、この近くでなくても良いと思います。こういうご時世ですし、鉄道を使って駅から歩いてくるという考え方で考えていただければと思います。

(河合和弘 委員)

私どもは船町1丁目に本拠を構えて約10年間活動をしてきました。二つの点について、言いたいと思います。参考資料としてマップを配っています。平成16年度からマップづくりに取り組んで17年度に中心市街地版を出しました。今ご覧いただいているのは第2弾です。このマップで表しているのは西門から美濃路の出入り口である正覚寺までの1キロメートルの距離です。非常に歴史的、文化的に価値の高い建造物や神社、仏閣がたくさんあります。かつては港町として発展し、現在も格子の家、むくりと称する屋根の流線形が美しい家、大正ロマンの家などもあります。正覚寺には芭蕉追悼塚もあります。今回は単に点を整備するだけでなく、むすびの地から正覚寺も含めて800メートルほどの地域の特性を見て、整備をされたら良いと思います。

観光とあまり大上段に構えるのではなく、日常の人間の本来の営みというか、感動、新たな発見、喜びなどが、さりげなく織り込まれたものを志向したほうが長続きすると思います。巨額な投資をすればピカピカなものはできて、一時的な賑わいは創出できるかもしれませんが、息の長いものとなると、人間本来の感性、営みの中にさりげなくあるものを生かしたほうが良いと思います。

本来は大垣城を中心としたセントラルパークがあれば、こちらは第二のポケットパーク的な発想を想定しますが、大垣駅からずっと四季の路が続いています。先般も哲学の道よりもここの方が良いと添乗員から言われました。ウォーターフロント、水門川があって、散歩道が続く雰囲気は大変良いです。観光的な要素から言うと、吊り橋を渡るのはお客様に印象が残るとも思います。駐車場でバスを降りて、お客

を引っ張っていくのは600メートルが限度だそうです。

もう一つは、10年間活動してきましたが、お客の流れはどうなっているのかです。芭蕉生誕360年祭の平成16年辺りまでは個人のお客と各種団体が主体でした。生誕祭をきっかけにツアーのお客が9割になりました。そういう面では相手がプロですから厳しい目で見てきます。ボランティアという名前に甘えていられるわけではなく切磋琢磨しないといけないと思っています。去年はガイドの件数は380件。そのうち280がバスツアー。1万1400人でした。生誕祭を上回る新記録でした。18年度対比では178%です。県の観光交流課が発表している観光レクリエーション動態調査では、速報では大垣圏域、西濃圏域などでは0.5%ほどマイナスです。しかし、奥の細道むすびの地を訪ねるお客様は大幅にアップしています。ですから記念館の来場者は18年度が1万4千人。19年度が1万9千人です。今年度の第1四半期も4,258人です。バスの駐車場が有料になりましたが、毎月50台以上来ています。昨年、県がディステイネートキャンペーンをやって、飛騨にお客を取られました。西濃圏域はマイナスですが、ここへ来るお客は増えています。その大半が芭蕉関係で来ます。大垣城ではないです。ついでに大垣城というパターンです。芭蕉に特化する形で整備するのが良いと思います。そして、むすびの地周辺だけでなく船町全体をどのようにするかも含めて考えると良いと思います。

(疋田 正 委員)

私どもは歴史、文化という観点から大垣市の活性化を考えるグループです。今回、こういうエリアを活用できるようになったのは喜ばしいことです。芭蕉というキーワードのまちは全国いたるところにあります。しかし、「むすびの地」というキーワードをつけられるのは大垣だけ、あるいはこのエリアだけです。むすびの地というキーワードを生かした開発を進めてほしいと思います。ただこの地域に限定せず、もう少し広いエリアも含めて、大垣市全体まで広げて起爆剤にしてほしいと思います。

もう一つは今回の懇談会は3回で終わる計画ですが、大垣市全体の観光の起爆剤、本格的な観光都市への脱皮への出発点の位置づけとして考えてほしいと思います。

(三輪高史 委員)

たくさんの方に檄を飛ばされて、苦節30年、ここまで来ました。今回を逃したら、もうないと思います。

一昨年の6月20日にマンション建設が調印されたところで、車戸さんと、なんとなく諦めたところがありましたが、市長をはじめとした協力があり、土地が手に入りました。町内の方といつも話すのですが、第2住吉荘の所有者とも話しますが、みんな協力的です。市におんぶにだっこではまずいですから、皆さん考えています。

うちの酒蔵は明治21年に建ちました。毎年数百万円投入して維持するのも大変ですが、なんとか守っています。他の古い家屋も同様です。たまたま今回のエリアが出発点と言う形で、市が中心でやっていただきますが、課をつくっても良いのではないかと思います。

数年前から芭蕉のまちにするということですが、鉄心の墓などいろいろあります。大垣にしかないものをたくさん入れてほしいと思います。大垣ならではの物をつくっていただいて、景観整備も含めてやっていただくようですが、古い建物は放っておけばどんどんなくなります。洒落たレストランがあってもいいと思います。ゆっくり回遊できる場所があればと思います。

(小林 晃 委員)

私どもの地域は、このエリアには直接入っていません。もう少し東のほうを見直してもらえたらと思います。と言うのは住吉公園の中には南ライオンズクラブが造った芭蕉ゆかりの句碑の案内もあります。

(北村正章 委員)

先般、天童市へ行きました。山寺へ行きました。あまりにも階段がきつくて断念しました。その折に芭蕉記念館がありましたので立ち寄りしました。清楚で良いもので、あのようなものができたらと思いました。連合自治会では倉敷を訪問する予定です。町並みの保存活動、ボランティア活動を視察してきますが、期待しています。次には何かの話ができると思います。

(松岡昌男 委員)

第五次総合計画の策定の前に、団体の代表者を集めて話がありました。そのときに記念館の移築、水門川の景観整備などをお願いしました。現在の記念館では一服する場所もない。早急に整備しないといけないと思います。芭蕉の作品は複製ばかりで本物が少ない。そこにお金をつぎ込んでお宝を購入すると良いと思います。先賢館は必要ないと思います。集中的なお金の使い方が良いと思います。

(中島章子 委員)

長野から大学入学で大垣へ来ました。何度かむすびの地に行こうとしましたが、道が複雑でたどり着けませんでした。もう少し分かりやすい看板があると良いと思いました。案内されないところがあります。地図をもらって自力で、その場所まで歩いてみたいという気持ちがあります。

(小西美那 委員)

常滑から大学入学で大垣へ来ました。大垣に来るまで芭蕉のむすびの地ということを知りませんでした。子どものときに社会見学で木曾三川公園に行きました。芭蕉や俳句について分かりやすい施設があればと思います。小中高生などが勉強で利用できる施設があると良いと思います。そうすれば、私が愛知県から木曾三川公園に行ったように、学習のためにやってくる人たちがたくさん来ると思います。

(蟻塚正樹 委員)

岐阜経済大学マイスタークラブの代表をしています。福井から大垣に来て3年です。以前は、大垣が芭蕉さんにつながっていることを知りませんでした。知ったの

もマイスタークラブで、中心市街地で活動するようになったからです。大学で普通に学んでいる学生にとっても、芭蕉と大垣はつながっていないと思います。

先ほど、俳句に若者が触れていないということでしたが、その通りだと思います。そうした抜けている世代を今回の整備で引きつけられるようなものを入れていくべきだと思います。

他の都市でもやっているような景観を整えて記念館を整備するだけでは、現状で得られている観光客層になると思います。ちょっと合わないかもしれませんが、お洒落なバーやレストランを積極的に入れる。和の中に洋を入れるような、他の都市にないような整備をして、そこを全面的に売り出さないと個性は出ないと思います。

(横山 正 座長)

ありがとうございました。皆さんから、この奥の細道むすびの地周辺整備についてのお考えを、一言ずつ聞くことができました。それでは、アドバイザーである大垣商工会議所事務局長の菱田さんからも、発言をいただきたいと思います。

(菱田耕吉 アドバイザー)

大垣商工会議所として、長年、中心市街地活性化に携わってきて、それなりの成果はあったと思います。ただ、実感としていろんな活動の成果が目に見えてきたものがないですから、今回の策定で成果につながるようなものをつくり出して行きたいと思います。

(横山 正 座長)

皆さんの思いをお聞きになって、アドバイザーの車戸さんはどのような感想をお持ちでしょうか。

(車戸慎夫 アドバイザー)

芭蕉に特化すべきという意見もありました。また、芭蕉にとらわれずに考えようという意見もありました。

私は、奥の細道は平泉から月山までだという気がします。芭蕉は、揖斐川の上に大垣があることは知っていたと思います。グルッと回って若狭から東海道を通過して、琵琶湖へ出て、不破の関を越えて杭瀬川から揖斐川を通った、日本海側と太平洋側を結ぶ最短のインフラを使った。

交通の要衝であった大垣の魅力や風土、また、芭蕉で特化していくべきなのかについても、次回に話すと良いと思います。おそらく芭蕉は水門川を見たときに、すごいと思ったでしょう。そうした水の力のようなものを輪中文化などとも含めてやったら、風土の記憶、歴史の重さなどもすべて分かるのではないかと思います。

(三輪高史 委員)

今回の構想の懇談会は、取得される土地が中心です。全体構想は皆さんが言われた話になると思います。これはこれで終わりにはならないと思います。これは出発

です。点から線、線から面とよく言われました。全部入れ込もうと思ってもまとまるはずがないと思います。

(横山 正 座長)

最後に、私から発言をさせていただきます。奥の細道むすびの地周辺整備について、この懇談会でどうまとめていくかということで非常に責任があると思っています。

素晴らしいものができれば、いろんな形で大垣市が素晴らしいものになっていく出発点になると思います。

この場所が奥の細道むすびの地になった、港があったことに着目して、大垣の水の文化を何らかの形で反映させられると良いと思います。戦後もあったわけですから、週末だけでも、桑名へ船が出ると良いと思います。そうした計画も進めてほしいと思います。

それでは、会議終了の時間が近づいておりますが、先ほど、奥の細道むすびの地を見たことがないという学生さんの発言もありました。この構想策定の対象地区を見に行くことを提案しますが、事務局、よろしいでしょうか。

(社本久夫 政策調整課長)

会議終了後にご案内をさせていただきます。

(横山 正 座長)

それでは、進行を事務局にお返しします。

5. 閉会

(水井静雄 企画部長)

ありがとうございました。次回の懇談会でございますが、8月12日(火)午前10時から12時での開催を予定しております。ご多忙とは存じますが、ご出席くださいますようお願いいたします。

なお、次回の懇談会では、本日皆様から頂戴いたしましたご意見やご提言を踏まえ、事務局において「たたき台」をご提示申し上げます。

その「たたき台」をもとに、ご懇談いただければと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、これをもちまして、第1回奥の細道むすびの地周辺整備構想懇談会を閉会させていただきます。本日は、誠にありがとうございました。